

3事業所、権利擁護自己評価表結果一覧 平成29年1月

回答者 めいとくの里55人 ワークス18人 ハピネス19人 計92人

※今回はアンケート用紙に記名して提出

番号	評価内容	前回全体平均	今回全体平均	前回との比較
1	利用者に対しては、年齢にふさわしい敬称をつけて呼ぶ。	4.6	4.5	↓
2	利用者と呼ば捨てにしない。	4.8	4.9	↑
3	利用者をニックネームで呼ばない。	4.4	4.6	↑
4	スタッフ相互の会話や会議で、利用者に対して不適切な呼称を用いない。	4.6	4.6	→
5	スタッフを先生と呼ばせたりしません。	4.7	4.6	↓
6	世話をしてやっているというような恩着せがましい態度をとりません。	4.7	4.7	→
7	「～しないと…してあげないよ!」のような交換条件による対応をしません。	4.3	4.5	↑
8	「～なさい!」のような上下関係での命令語は使用しません。	4.7	4.7	→
9	「だめよ!」のような上下関係での禁止語を使用しません。	4.2	4.1	↓
10	「どうして～するの!」のような上下関係での叱責語は使用しません。	4.3	4.4	↑
11	利用者に対して、乱暴な言葉を使いません。	4.7	4.8	↑
12	利用者に対して、軽蔑した言動をとりません。	4.6	4.7	↑
13	利用者に対して、からかいません。	4.3	4.6	↑
14	利用者に対して高圧的で、威嚇するような態度をとりません。	4.6	4.6	→
15	利用者の意思や希望を引き出す雰囲気づくりに努力します。	4.2	4.3	↑
16	友好的な言葉かけをしたり、リラックスした雰囲気を作り出す努力をします。	4.3	4.4	↑
17	言語によるコミュニケーションを取りにくい利用者についても、表情や行動などの非言語的な表現を解釈して意思や希望をくみ取る努力をします。	4.3	4.5	↑
18	本人の意思や希望を理解するために、家族から本人の嗜好や希望、価値観などについて情報収集し、援助に反映させます。	3.8	4.2	↑
19	利用者の障害や状況、特性に応じて、提供できるサービスの内容などに関して、分かりやすく情報提供する努力をします。	3.8	4.3	↑
20	利用者から求められた援助・相談に対しては、出来る限り即時に対応します。	4.0	4.2	↑
21	利用者から既存のサービスメニューにないサービスを求められたときも、できるだけ応える努力をします。	3.9	4.2	↑
22	利用者から求められたサービスの希望に応えられない事柄については、その理由を利用者に説明して、理解を求めます。	4.0	4.4	↑
23	いかなる体罰もおこないません。	4.9	4.9	→
24	冗談半分でも、蹴ったり、叩いたりしません。	4.8	4.9	↑
25	トイレ介助のときは、ドア・カーテンを閉めるなど、利用者のプライバシーの保護に配慮します。	4.7	4.8	↑
26	トイレ介助など介助内容によって、同性介助の配慮をします。	4.3	4.6	↑
27	利用者個人の秘密やプライバシーに関わる事柄を、第三者に話しません。	4.7	4.9	↑
28	食事中、食べ方の遅い利用者をせかしたり、叱ったりしません。	4.6	4.7	↑
29	本人がするつもりであることを、スタッフが早く済ませようとして、手っ取り早く片づけたりしません。	4.3	4.3	→
30	利用者が自らを傷つけたり、他者に危害を加えるなどの行動をとった場合に、できるだけ受容する姿勢で受けとめます。	4.2	4.4	↑
		4.41	4.54	↑

1=不完全 2=もう少し 3=まあまあ 4=ほぼ出来ている 5=非常に出来ている